



















プログラム名		モリモリ森のうんどうかい						
対象年齢		年長（5～6歳）						
ねらい	メッセージ	自然の中には、色々な感触があることに気づこう						
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物に触れる感触を味わう ・自然の中には色々な形があることに気づく ・どこに何が落ちているか、どんなものが生まれているか知る・見つける 						
参加者のめやす		幼児 30人 / 支援者 5人						
実施時間		30分						
フィールド								
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント								
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ			
5分		グループに分かれる（6グループ）			自然物で玉入れをすることを説明しましょう。自分たちのグループの色と玉を入れる同じ色のペットボトル（ペットボトルの底にグループ色の色紙を貼る）を、見本を見せて確認させましょう。			
10分		玉入れの玉（自然物）を集めに行く <ul style="list-style-type: none"> ・木の実、葉っぱ、木の枝などの自然物 拾ってきた玉（自然物）を入れ物に投げ入れる <ul style="list-style-type: none"> ・円（なわとびで作る）の外から、真ん中のペットボトルに玉を投げ入れる 玉（自然物）の数を数える ・玉の数が多いチームが勝ち  2回目 <ul style="list-style-type: none"> ・玉（自然物）をとりに行き、玉入れをする 			どんな自然物が、玉になるかを子どもたちに問いかけて、グループで考える時間を作りましょう。（園内の自然物に気づかせる） 子どもたちの様子を見ながら、危険がないか配慮しましょう。様子を見ながら、2分ぐらいで時間を切って見ましょう。 中身の玉（自然物）の数をみんなで数えましょう。どの玉（自然物）が入りやすかったか、どの玉（自然物）が入りにくかったかを話し合うと良いでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの気づきに共感しましょう。 みんなと違う玉（自然物）があったら、みんなの前で知らせると良いでしょう。玉入れの結果を知らせ、1番になったグループを拍手してたたえあいましょう。			

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
10分	<p>リレーをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6グループ対抗で走る ・途中の指定した場所でくじを引く(くじ引きの色でタッチする木の色を決める) <p>くじを引いた色と同じ色が貼られた木にタッチしに行く (3種類の木)</p>  <p>次に走る友だちにバトンをわたす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の枝のバトンをもらって走る <p>くす玉(自然物を入れる)割り</p> 	<p>リレーの説明をして、木の枝のバトンを渡しましょう。</p> <p>バトンの枝を持って走るときは、危ないので気をつけるように話をしましょう。 支援者が見本を見せると良いでしょう。</p>  <p>木にくじの色(赤・青・黄)と同じ色の紙を貼り、タッチする木をわかりやすくしておきましょう。 3種類の木は、特徴の違う木にすると良いでしょう。(種類、大きさ、距離など) くじ引きやタッチする木のそばにいて、子どもたちの様子を見守り援助しましょう。 事前にチームの人数をそろえておきましょう。 アンカーをわかりやすくするために、帽子の色を一色にそろえておくと良いでしょう。</p> <p>リレーに玉入れを組み込んでも良いでしょう。 借り物競走のような遊びにもできるでしょう。</p> <p>子どもたちが感じた事や思った事を話し合っ「ふりかえり」をすると良いでしょう。</p>
5分	全体で話を聞く	
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：個人で一線上からの的を大きくして玉入れをしてみましょう。(的までの距離50cm位) ：集める玉(自然物)を指定して探してもらい、玉入れをしてみましょう。 ：木にタッチするだけの「かけっこ」にしてみるのも良いでしょう。 ：年少・年中・年長のグループでは、役割分担を決めて玉入れなどを行ってみましょう。</p> <p>年中：玉になる自然物の例を示して探してもらい、玉入れをしてみましょう。 ：チーム数を減らして、バトン「木の枝」から安全な「輪っか」にして行ってみましょう。</p> <p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>家の近くで玉になる自然物を探して園に持ってきて玉入れをしてみましょう。 自然の無い所でも、玉入れなどの準備をして遊ぶと良いでしょう。 家庭に帰っても色々な自然物などに触らせて、同じ物でも違いがあることに気づかせましょう。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル6本(底にグループ色の色紙を貼る) ・なわとび(玉入れの円を描くときに使用)18本 ・木の枝のバトン(6本) ・くじ引き(赤・青・黄のくじを作る) ・ゲームボックス(くじ引きの台)3台 	

